

# 木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター  
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(16年12月分)

1. 調査実施期間 平成16年 11月20日 ~ 12月10日
2. 調査実施方法  
東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、FAXによりアンケート調査票を送受することにより実施した。  
12月分の回答企業数は36社、回収率は30.8%である。
3. 判断指数の算出方法  
各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = {(「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合)} ÷ 2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

### 4. 調査結果の概要

#### (1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight.D.I.

		16/12月	17/1月	2月
仕入動向	国産材	10.7	17.9	5.4
	外材	16.7	21.2	3.0
販売動向	国産材	11.1	16.7	7.4
	外材	18.2	24.2	9.1
在庫動向	国産材	7.7	3.8	1.9
	外材	9.4	6.5	6.5

仕入状況判断は不需用期のため国産材、外材ともマイナス基調である。販売状況判断もマイナス基調だが、国産材に比べ、外材のマイナス幅がやや小さい。  
在庫状況判断もマイナスである。

#### (2) 価格動向

表-2 価格 Weight.D.I.

品目	16/12月	17/1月	2月
スギ正角(グリーン)	4.3	4.5	2.2
スギ正角(KD)	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角	2.2	0.0	0.0
ヒノキ土台角	2.2	0.0	2.2
米ツガ正角(現地挽)	4.5	6.8	0.0
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	2.3	2.3	0.0
米マツ平角	5.0	5.0	2.5
北洋アカマツタルキ(現地挽)	10.0	5.0	2.5
ホワイトウッド集成管柱	21.4	14.3	11.9
レッドウッド集成平角	0.0	7.5	5.0
型枠合板(国産)	6.3	9.4	3.1
型枠合板(輸入)	0.0	5.6	2.8
針葉樹合板	14.7	0.0	0.0

国産材は、ややマイナス、もしくは±0となっている。外材では北洋アカマツタルキ(現地挽)がややプラスである。またホワイトウッド集成管柱のマイナス幅が大きいのが目立つ。

合板では、針葉樹合板の12月のマイナス幅がやや大きい。型枠合板(国産、輸入)は1月はマイナスだが、2月はややプラスに転じている。

<参考>木材製品の荷動き・価格先行動向調査

(数値は回答に対する割合)

1. 荷動き

単位: %

品目		16/12月	17/1月	2月	
仕入動向	国産材	増加	0.0	0.0	3.6
		やや増加	10.7	3.6	7.1
		横ばい	57.1	57.1	64.3
		やや減少	32.1	39.3	25.0
		減少	0.0	0.0	0.0
	外材	増加	0.0	0.0	3.0
		やや増加	12.1	6.1	9.1
		横ばい	48.5	51.5	66.7
		やや減少	33.3	36.4	21.2
		減少	6.1	6.1	0.0
販売動向	国産材	増加	0.0	0.0	3.7
		やや増加	18.5	7.4	7.4
		横ばい	40.7	51.9	59.3
		やや減少	40.7	40.7	29.6
		減少	0.0	0.0	0.0
	外材	増加	0.0	0.0	3.0
		やや増加	15.2	6.1	9.1
		横ばい	39.4	42.4	57.6
		やや減少	39.4	48.5	27.3
		減少	6.1	3.0	3.0
在庫動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	7.7	7.7	7.7
		横ばい	69.2	76.9	80.8
		やや減少	23.1	15.4	11.5
		減少	0.0	0.0	0.0
	外材	増加	0.0	3.2	0.0
		やや増加	9.4	9.7	3.2
		横ばい	65.6	61.3	80.6
		やや減少	21.9	22.6	16.1
		減少	3.1	3.2	0.0

2. 価格動向

品目		16/12月	17/1月	2月
スギ正角 (グリーン材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	0.0
	横ばい	91.3	90.9	95.7
	やや下落	8.7	9.1	4.3
	下落	0.0	0.0	0.0
スギ正角 (KD材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	4.2	0.0	0.0
	横ばい	91.7	100.0	100.0
	やや下落	4.2	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	0.0
	横ばい	95.7	100.0	100.0
	やや下落	4.3	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角 12.0×12.0cm ×4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	4.3	0.0	0.0
	横ばい	87.0	100.0	95.7
	やや下落	8.7	0.0	4.3
	下落	0.0	0.0	0.0

品目		16/12月	17/1月	2月
米ツガ正角 (現地挽) 9.0×9.0cm 10.5×10.5cm ×3~4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	4.5
	横ばい	90.9	86.4	90.9
	やや下落	9.1	13.6	4.5
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐 土台角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	4.3	4.3	0.0
	横ばい	91.3	91.3	100.0
	やや下落	4.3	4.3	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物 (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	4.5	0.0	0.0
	横ばい	86.4	95.5	100.0
	やや下落	9.1	4.5	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	0.0
	横ばい	90.0	90.0	95.0
	やや下落	10.0	10.0	5.0
	下落	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツ タルキ (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	20.0	10.0	5.0
	横ばい	80.0	90.0	95.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ホワイトウッド 集成管柱 (5層国内産)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	4.8	0.0	0.0
	横ばい	57.1	76.2	85.7
	やや下落	28.6	19.0	4.8
	下落	9.5	4.8	9.5
レッドウッド 集成平角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	5.0	0.0	0.0
	横ばい	90.0	85.0	90.0
	やや下落	5.0	15.0	10.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (国産品)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	18.8	6.3	6.3
	横ばい	75.0	68.8	93.8
	やや下落	6.3	25.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (輸入品)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	16.7	5.6	5.6
	横ばい	66.7	94.4	94.4
	やや下落	16.7	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
針葉樹 構造用合板	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	5.9	5.9	5.9
	横ばい	58.8	88.2	88.2
	やや下落	35.3	5.9	5.9
	下落	0.0	0.0	0.0

<モニターからのコメント>

カナダの伐採大幅減とカナダドル高により仕入れ高なるも、内地の販売価格は伸びず、荷動きは低迷している。(東京:問屋)

スプルス丸太の中国向け配船に失速感が出始めた。高値買いに歯止めがかかりそうな状況となった。(東京:問屋)

南洋材産地は雨季のため、出材が減少、インドネシアは林業相自ら盗伐取締に乗り出す。中国は2月の春節休み前の生産増加。(東京:問屋)

7～10月にかけてプレカット工場は好調だった割りに内地材の動きが悪い。ホワイトウッド集成管柱の下落がこのまま使用材料の変化をもたらすか?(東京:問屋)

来年は今年よりもさらに売れ行きは減少していくと思われ、正念場になりそう。(東京:問屋)

10月は雨が多かったため仕事がずれ込んできている感じ。11月後半から細かいながら忙しい。(東京:問屋)

来年の仕事が見えてこない。配達も急ぎで、細かくボリュームがない。本年は建前からの木造は1軒もなかった。(東京:仲買小売)

今年の木材業界は年初から月を追うごとに厳しさを増してきた。来春には大きな厳しさが待っているのではないか。現在の価格が据え置かれていれば御の字。(東京:仲買小売)

木材、合板とも価格動向に安定感が出てきたように見える。(東海:仲買小売)